



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名 エア・ウォーター株式会社
コード番号 4088

上場取引所 東・札

URL <http://www.awi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 青木 弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長

(氏名) 岸 貞行

TEL (06) 6252-3966

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	303,583	21.9	14,803	13.4	15,828	10.1	8,980	21.6
25年3月期第2四半期	248,977	5.1	13,055	0.7	14,373	3.1	7,386	△4.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 13,972百万円(90.5%) 25年3月期第2四半期 7,335百万円(58.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	45 94	45 85
25年3月期第2四半期	37 84	37 77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	509,252	211,402	38.5
25年3月期	484,328	199,212	38.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 196,220百万円 25年3月期 185,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11 00	—	13 00	24 00
26年3月期	—	12 00			
26年3月期(予想)			—	12 00	24 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	16.7	34,000	21.9	36,000	2.4	19,000	3.5	97 18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規—社(社名) 、除外—社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	198,705,057株	25年3月期	198,705,057株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	3,174,038株	25年3月期	3,262,169株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	195,492,884株	25年3月期2Q	195,197,475株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

当社グループを取り巻く経営環境は、輸出環境の改善や住宅建設の駆け込み需要などを背景に、素材分野を中心に緩やかに回復してまいりました。しかしながら、業種や製品ごとのまだら模様が鮮明になるなど、景気回復の効果は、実体経済にはいまだ十分に及んでいない状況が続きました。

こうしたなか、産業ガス関連事業は、ガス供給の一部に回復の兆しが現れてまいりましたが、製造業全般においては本格的な需要回復には至らず、さらに電力問題などコストアップの影響を強く受け、総じて厳しい状況で推移いたしました。一方、当社固有の全天候型経営ならびにねずみの集団経営を強力に推進し、医療関連事業やエネルギー関連事業、農業・食品関連事業など暮らしに関わる事業が着実に拡大、これにより前年同期を上回る業績となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,035億8千3百万円（前年同期比121.9%）、営業利益は148億3百万円（同113.4%）、経常利益は158億2千8百万円（同110.1%）、四半期純利益は89億8千万円（同121.6%）となりました。

②当期の連結セグメント別業績

（単位：百万円）

	売上高		経常利益	
	当第2四半期	前年同期比	当第2四半期	前年同期比
産業ガス関連事業	92,500	105.1%	5,392	85.7%
ケミカル関連事業	46,998	102.0%	1,328	107.0%
医療関連事業	53,367	146.0%	2,697	116.9%
エネルギー関連事業	21,268	106.7%	950	116.5%
農業・食品関連事業	36,834	344.4%	2,110	417.6%
その他の事業	52,613	110.3%	3,583	120.0%
(調整額)	—	—	△234	—
合計	303,583	121.9%	15,828	110.1%

（注）経常利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

<産業ガス関連事業>

産業ガス供給は、高炉オンサイトが好調な粗鋼生産により順調に推移いたしました。高炉を除く国内製造業の生産活動ならびに設備投資は本格的な回復には至らず、加えて品種構成悪化の影響もあり、総じて厳しい状況が続きました。しかしながら、化学、自動車、建機、鉄骨・橋梁向けについては、緩やかながら回復の兆しが見えてまいりました。

一方、電気料金の値上がりにより製造コストの上昇が続き、これに対応してガス価格の改定に注力いたしました。

情報電子材料分野では、電気・電子材料専門商社の阿部電材㈱を本年4月より新規連結いたしております。

以上の結果、当セグメントの売上高は925億円（前年同期比105.1%）、経常利益は53億9千2百万円（同85.7%）となりました。

<ケミカル関連事業>

コールケミカルは、コークス炉ガスの処理量が安定し、基礎化学品の主力である粗ベンゼンの生産・販売が好調に推移いたしました。ファインケミカルは、一部製品の中国生産子会社への移管による生産効率化、また原材料コストの合理化が進展するなど、構造改革が着実に進捗いたしました。タール蒸留事業は、無水フタル酸、ナフタリンなど、安定した需要が続いたものの、主力のニードルコークスは引き続き厳しい状況となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は469億9千8百万円（前年同期比102.0%）、経常利益は13億2千8百万円（同107.0%）となりました。

<医療関連事業>

医療用酸素は、新規病院の獲得などにより前年を上回る販売数量となりました。医療機器は、新生児・小児用人工呼吸器の納入が拡大するとともに周産期系医療機器の商品ラインナップの充実を図りました。また、循環器系機器についても症例数増加を背景に好調に推移いたしました。医療サービスは、SPDならびに在宅医療分野でM&Aによる事業強化が進み、順調に推移いたしました。病院設備工事は、配管設備工事がわずかに減少したものの、大型病院の高度化ニーズを背景にした手術室・ICU設備工事件数は昨年を上回るどころとなり、順調に推移しました。

以上の結果、売上高は533億6千7百万円（前年同期比146.0%）、経常利益は26億9千7百万円（同116.9%）となりました。

<エネルギー関連事業>

主力のLPガスは、家庭における節約志向の高まりから消費の減少が続くなか、新規顧客の獲得、ハイブリット給湯暖房システムの導入促進による単位消費量拡大、さらに工業用顧客には燃転を図るなどLPガス拡販施策の推進により、前年を上回る数量を確保いたしました。また灯油ならびにガス関連機器は、LPガス既存顧客への販売ルートを生かした新商材の提案活動推進により、灯油の付帯率向上、ガス機器の販売増加など、LPガスを基軸に事業内の相乗効果を発揮いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は212億6千8百万円（前年同期比106.7%）、経常利益は9億5千万円（同116.5%）となりました。

<農業・食品関連事業>

ハムデリカ・冷凍食品事業は、主力の生ハムが大手コンビニチェーンに採用され、また外食チェーンに新規採用が進む業務用ソース工場もフル稼働を続けるなど、総じて順調に推移いたしました。

飲料事業は、ゴールドパック(株)が需要期にあたり安定した操業を続け、堅調に推移いたしました。また、本年6月には、北海道と青森を拠点とする(株)ニチロサンパックを子会社化し、当第2四半期より連結業績に加わっております。

農産・加工食品事業は、(株)トミイチの加工部門が天候要因による主要作物の作柄悪化の影響を受けるところとなりましたが、生鮮野菜の流通部門でこれを補い、概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、当セグメントは飲料事業の新規連結効果を中心に拡大し、売上高は368億3千4百万円（前年同期比344.4%）、経常利益は21億1千万円（同417.6%）となりました。

<その他の事業>

海水事業のうち塩事業は、業務用特殊製法塩が外食向けの拡販により堅調に推移したほか、塩化カリウムなど新規事業が順調に拡大いたしました。さらに、本年7月より水処理機械・配管更生事業のアクアインテック(株)を新規連結しております。マグネシア事業は、高級電磁鋼板用マグネシアの販売が回復し、堅調に推移いたしました。

物流事業は、建材や農産物輸送量の増加、特殊車両製造でのトラックボディ架装の増加などが、軽油の値上がりによるコストの上昇を吸収し堅調に推移いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は526億1千3百万円（前年同期比110.3%）、経常利益は35億8千3百万円（同120.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比べて249億2千3百万円増加し、5,092億5千2百万円となりました。負債は、有利子負債の増加などにより前連結会計年度末に比べて127億3千3百万円増加し、2,978億4千9百万円となりました。純資産は、四半期純利益の積み上げなどにより前連結会計年度末に比べて121億9千万円増加し、2,114億2百万円となりました。

なお、1株当たり純資産は前連結会計年度の949.63円から1,003.52円に増加し、自己資本比率は前連結会計年度の38.3%から38.5%に増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費などから、法人税等の支払などを差し引いた結果、前第2四半期連結累計期間に比べ77億5千5百万円増加し、251億6千8百万円の収入となりました。

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得および子会社株式の取得による支出などにより、前第2四半期連結累計期間に比べ50億6千7百万円支出額が増加し、291億3千3百万円の支出となりました。

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払などの支出が生じたものの、長期借入れによる収入額が支出額を上回ったため、前第2四半期連結累計期間に比べ37億2千5百万円増加し、90億9千7百万円の収入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前第2四半期連結会計期間末残高に比べ47億5千2百万円増加し、251億3千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の経営環境は、国内の需要が堅調に推移し、海外経済も徐々に持ち直しに向かい、緩やかな回復が続いています。先行きについても、内需が堅調さを維持する中で、輸出も徐々に増加していくと見込まれます。しかしながら、米国をはじめとする海外経済の下振れリスク、電気料金などのコストアップ、労務・資材不足による建設工事の遅れなど、依然として不透明要因が多く存在します。

こうした状況の下、産業ガス事業においては、ガス価格改定を確実に実行してゆくとともに、地域事業会社を中心とする産業ガスビジネスの強化を着実に推進してまいります。一方、医療、エネルギー、農業・食品など暮らしに関わる事業によって業績を押し上げ、成長力の維持を図ってまいります。

これにより通期業績につきましては、上期業績をもとに期初計画を修正することといたしました。

(単位：百万円)

	平成26年3月期 連結業績見直予想	平成26年3月期 連結業績当初予想	増減額
売上高	630,000	600,000	30,000
営業利益	34,000	34,000	—
経常利益	36,000	36,000	—
当期純利益	19,000	19,000	—

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、継続的な企業価値の向上を図るべく経営基盤の強化を進めていくと同時に、株主への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。このため、剰余金の配当につきましては、中長期的な成長のための戦略的投資等に必要な内部留保の充実に留意しつつ、連結当期純利益の30%を配当性向の目標として、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行うことを基本方針としております。

中間配当につきましては、期初の予想通り1株当たり12円といたします。尚、期末配当につきましては、通期業績から判断し、公表する予定といたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,879	25,896
受取手形及び売掛金	125,851	125,140
商品及び製品	20,280	21,533
仕掛品	5,101	6,507
原材料及び貯蔵品	7,715	8,704
その他	24,279	24,177
貸倒引当金	△1,993	△2,108
流動資産合計	201,116	209,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,665	48,559
機械装置及び運搬具(純額)	66,029	66,031
土地	53,196	54,473
その他(純額)	33,795	33,449
有形固定資産合計	197,686	202,514
無形固定資産		
のれん	13,639	14,950
その他	4,282	4,594
無形固定資産合計	17,922	19,544
投資その他の資産		
投資有価証券	47,447	57,139
その他	21,196	21,065
貸倒引当金	△1,040	△862
投資その他の資産合計	67,603	77,342
固定資産合計	283,212	299,401
資産合計	484,328	509,252

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,745	86,022
短期借入金	53,663	48,010
1年内償還予定の社債	38	38
未払法人税等	4,389	6,279
その他の引当金	348	119
その他	35,923	29,778
流動負債合計	182,107	170,248
固定負債		
社債	10,057	10,038
長期借入金	57,296	80,187
退職給付引当金	7,786	8,537
その他の引当金	1,399	1,269
その他	26,469	27,568
固定負債合計	103,008	127,600
負債合計	285,116	297,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,263	32,263
資本剰余金	34,455	34,503
利益剰余金	129,973	136,422
自己株式	△3,280	△3,206
株主資本合計	193,411	199,984
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,165	5,055
繰延ヘッジ損益	△331	△383
土地再評価差額金	△8,792	△8,792
為替換算調整勘定	145	356
その他の包括利益累計額合計	△7,812	△3,763
新株予約権	290	317
少数株主持分	13,322	14,864
純資産合計	199,212	211,402
負債純資産合計	484,328	509,252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	248,977	303,583
売上原価	195,375	244,679
売上総利益	53,601	58,904
販売費及び一般管理費	40,545	44,100
営業利益	13,055	14,803
営業外収益		
受取利息	124	117
受取配当金	356	344
持分法による投資利益	944	769
その他	1,254	1,337
営業外収益合計	2,679	2,570
営業外費用		
支払利息	754	763
設備賃貸費用	397	480
その他	210	301
営業外費用合計	1,362	1,545
経常利益	14,373	15,828
特別利益		
固定資産売却益	38	53
受取補償金	1,065	1,112
その他	92	169
特別利益合計	1,196	1,334
特別損失		
固定資産除売却損	1,082	456
減損損失	175	163
投資有価証券評価損	1,624	3
災害による損失	10	—
その他	96	127
特別損失合計	2,990	751
税金等調整前四半期純利益	12,578	16,411
法人税等	3,980	6,460
少数株主損益調整前四半期純利益	8,598	9,950
少数株主利益	1,211	970
四半期純利益	7,386	8,980

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,598	9,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,129	3,738
繰延ヘッジ損益	△125	△45
為替換算調整勘定	4	151
持分法適用会社に対する持分相当額	△12	176
その他の包括利益合計	△1,262	4,021
四半期包括利益	7,335	13,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,171	12,943
少数株主に係る四半期包括利益	1,163	1,028

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,578	16,411
減価償却費	10,563	12,169
減損損失	175	163
のれん償却額	858	990
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△238	△113
退職給付引当金の増減額(△は減少)	215	63
受取利息及び受取配当金	△481	△462
支払利息	754	763
持分法による投資損益(△は益)	△944	△769
固定資産除売却損益(△は益)	1,044	403
投資有価証券評価損益(△は益)	1,624	3
災害による損失	10	—
受取補償金	△1,065	△1,112
売上債権の増減額(△は増加)	4,777	8,011
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,035	△1,220
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,039	△6,433
その他	△1,539	△1,458
小計	22,260	27,407
利息及び配当金の受取額	1,213	1,467
利息の支払額	△761	△771
補償金の受取額	1,339	2,074
損害補償損失の支払額	—	△453
法人税等の支払額	△6,638	△4,556
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,412	25,168
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,824	△19,370
有形固定資産の売却による収入	265	434
無形固定資産の取得による支出	△181	△148
投資有価証券の取得による支出	△2,082	△4,965
投資有価証券の売却による収入	3	33
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△13,545	△5,635
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	297
貸付けによる支出	△2,455	△1,355
貸付金の回収による収入	2,704	1,621
その他	50	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,066	△29,133

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,168	△4,451
長期借入れによる収入	1,592	28,951
長期借入金の返済による支出	△4,693	△11,398
社債の償還による支出	△19	△29
リース債務の返済による支出	△1,401	△1,295
自己株式の取得による支出	△9	△42
自己株式の売却による収入	212	165
配当金の支払額	△2,145	△2,540
少数株主への配当金の支払額	△331	△262
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,371	9,097
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,278	5,283
現金及び現金同等物の期首残高	21,562	19,469
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	12	4
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81	372
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,378	25,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	ケミカル 関連事業	医療 関連事業	エネルギ ー関連 事業	農業・ 食品関連 事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	87,976	46,088	36,561	19,941	10,695	47,713	248,977	—	248,977
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,347	15	338	843	27	8,479	11,051	(11,051)	—
計	89,323	46,103	36,900	20,785	10,723	56,193	260,029	(11,051)	248,977
セグメント利益	6,289	1,241	2,306	815	505	2,987	14,146	227	14,373

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	産業ガス 関連事業	ケミカル 関連事業	医療 関連事業	エネルギ ー関連 事業	農業・ 食品関連 事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	92,500	46,998	53,367	21,268	36,834	52,613	303,583	0	303,583
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,481	23	135	889	21	8,042	10,594	(10,594)	0
計	93,982	47,022	53,502	22,158	36,855	60,656	314,178	(10,594)	303,583
セグメント利益	5,392	1,328	2,697	950	2,110	3,583	16,062	(234)	15,828

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない当社本社部門及び研究開発部門の費用並びに財務関連の損益等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。